

KAWATA IR Report

第74期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

株式会社 **カワタ**
証券コード 6292

TOP MESSAGE

現場第一主義を基本姿勢とし、創業以来培ってきた技術を基に、お客様の生産活動の改善につながる提案と、お客様に喜んでいただける製品・サービスを提供することにより、世界の人々のより豊かで安全な暮らしに貢献します。

代表取締役社長 白石 互

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社の第74期中間報告書をお届けいたします。足元は厳しい経営環境ですが、成長戦略の実行と企業体質の改善に取り組み、中長期的な株主価値向上に努めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年12月7日



当中間期における業績について

世界経済は、引き続き中国を除く主要国におけるウイズコロナ政策への方針転換により経済活動正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化や中国での厳格なゼロコロナ政策の継続など地政学的リスクが高まるなか、資源価格の高騰や欧米におけるインフレ率の急激な上昇に伴う金融引き締め加速など、先行き不透明感が更に強まっております。

わが国経済も、ワクチン接種の普及とウイズコロナ政策の進展に伴う各種制限の緩和により景気回復基調が続いておりますが、資源価格の高騰や円安等に伴う物価上昇などの景気下押し圧力もあり、先行き不透明な状況が続いております。一方、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ると、製造業の機械受注額は、2021年10月～12月は13,014億円（前年同期比23.4%増）、2022年1月～3月は13,112億円（同24.2%増）、4月～6月は14,300億円（同21.2%増）、7月は4,506億円、8月は4,963億円と回復基調で推移しております。

このような環境下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、引き続き各セグメントが属する国の状況に応じて時差出勤や在宅勤務等を実施しながら、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当中間期における受注高は前年同期比12億2千3百万円増（同11.3%増）の120億3千3百万円となり、受注残高は前年同期比51億4千8百万円増（同71.5%増）の123億4千6百万円となりました。一方、売上高につきましては、中国のゼロコロナ政策等に伴いサプライチェーンの混乱が続くなかで部品の供給不足が長期化していることに加え、上海市のロックダウンに伴い中国子会社において一時的な工場の操業停止を余儀なくされたことなどにより、前年同期比6億6百万円減（同7.2%減）の78億4千3百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減に努めたことなどにより売上総利益率は改善（28.2%→28.7%）したものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少と販売費及び一般管理費の増加等により、3千8百万円の営業損失（前年同期は2億8千9百万円の営業利益）となりました。一方、経常利益については2億2千1百万円の為替差益の計上等により前

年同期比1億2千9百万円減（同41.1%減）の1億8千5百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券売却益6百万円を特別利益に計上するとともに、中国子会社の操業停止期間中の製造固定費1億8百万円を新型コロナウイルス感染症関連損失として特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税1億4千8百万円、法人税等調整額マイナス3千5百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純損失は3千1百万円（前年同期は1億5千9百万円の中間純利益）となりました。

今後の見通しについて

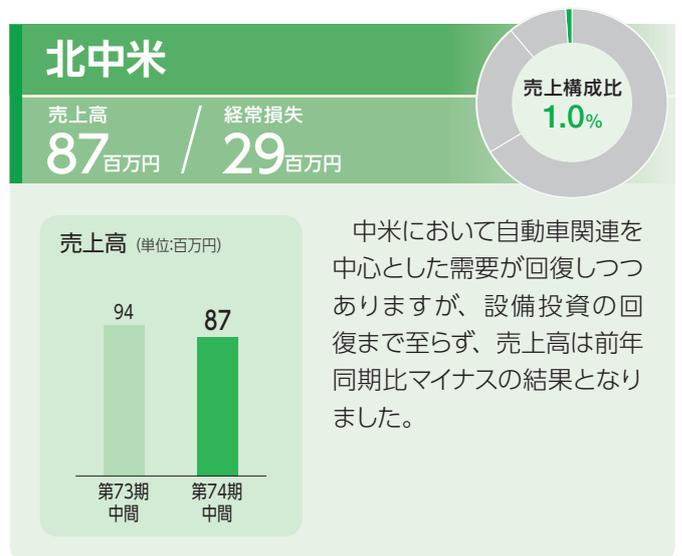
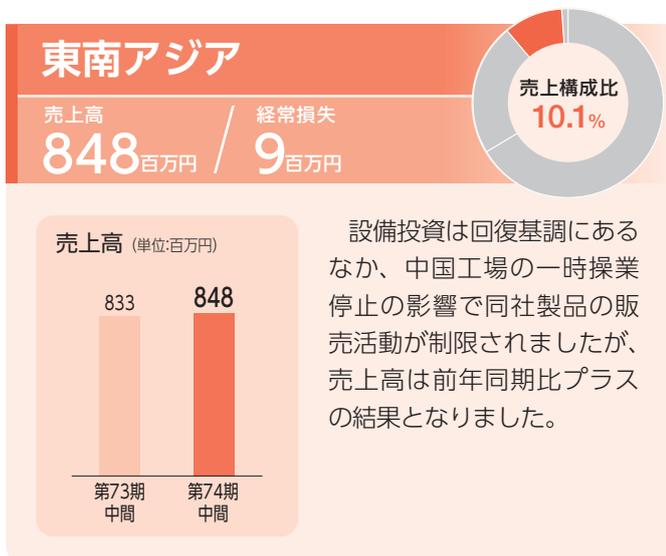
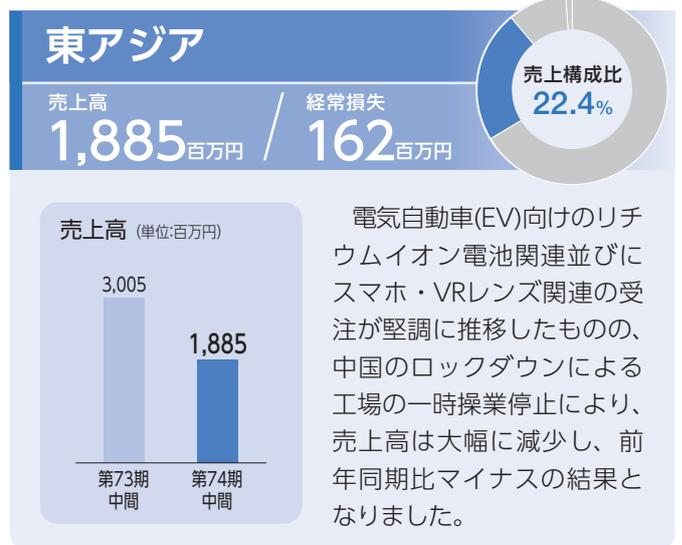
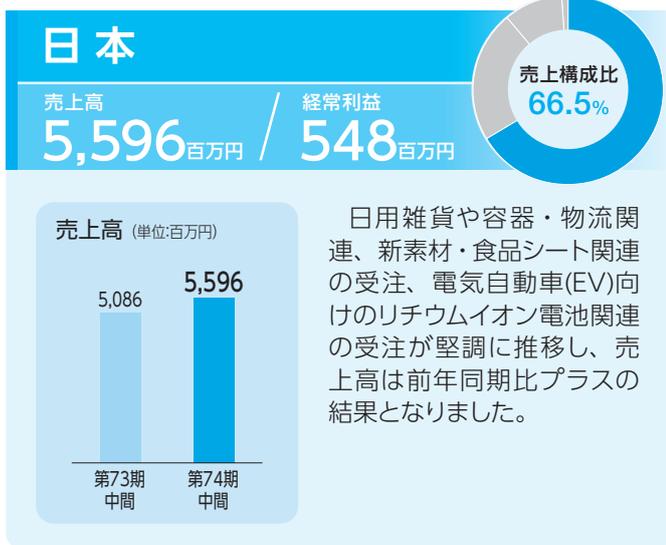
世界経済は、中国を除く主要各国におけるウイズコロナ政策の推進のもと、緩やかな回復基調が続いてきましたが、インフレの加速とそれに伴う各国中央銀行の相次ぐ金融引き締めにより不透明感が強まってきております。また、資源価格の高騰とウクライナ情勢の長期化や中国における厳格なゼロコロナ政策の継続など地政学的リスクが高まるなか、景気の不安定感は一層強まるものと予想されます。

わが国経済も、ウイズコロナ政策のもと、経済活動の正常化に向けた回復の動きが続いているものの、原材料価格の高騰や急激な円安の進展等により景気下振れリスクが強まっております。

このような内外情勢のもと、当社グループでは受注は堅調に推移しているものの、売上高については上半期での不足分を下半期でカバーするには至らないと予想されることから、2022年10月31日に2023年3月期の連結業績予想の修正を行っております。修正の内容並びに修正の理由につきましては、2022年10月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化等に積極的に技術や資源を投入するとともに、ウイズコロナの環境のもと、社会の環境変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応してまいります。また、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等に加えて新規市場や成長分野への事業展開の強化を中長期的に取り組んでまいります。世界レベルでの環境問題（脱炭素、使い捨てプラスチックの削減）に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を強化いたします。

地域別の概況



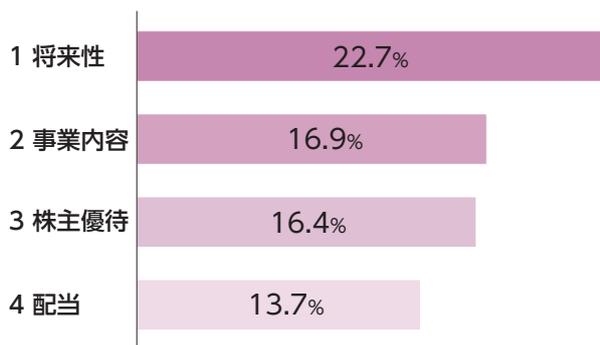
※売上構成比は連結調整額を除いて算出しています。

トピックス TOPICS

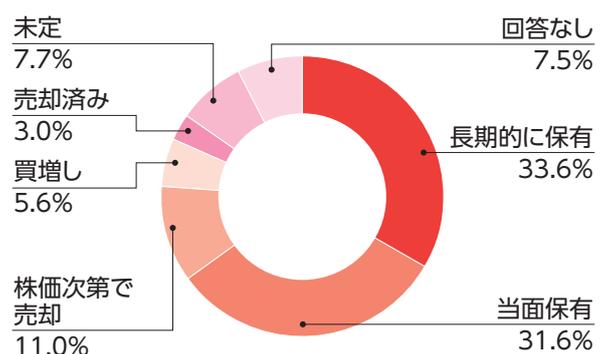
株主アンケート結果のご報告

2022年3月31日時点で当社株式500株以上を保有する株主のみなさまを対象に株主アンケートを実施し、870名の方々からご回答をいただきました。お寄せいただいたご回答のなかから一部をご報告いたします。

● 当社株式の購入理由 (上位4項目) 複数回答



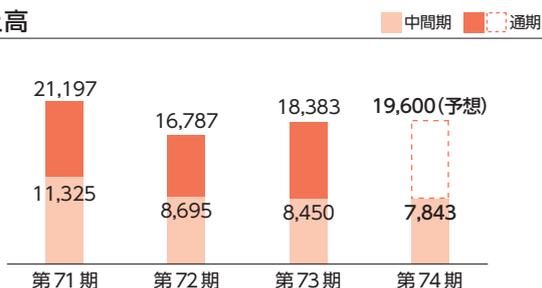
● 今後の方針



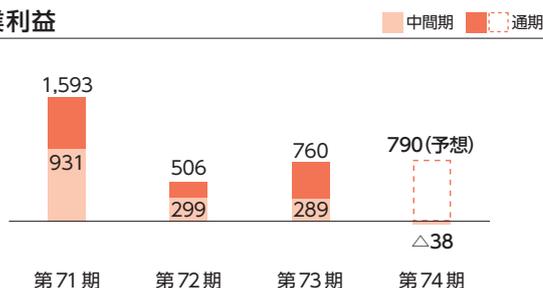
連結財務ハイライト

単位:百万円 / 1株当たり純利益のみ単位:円

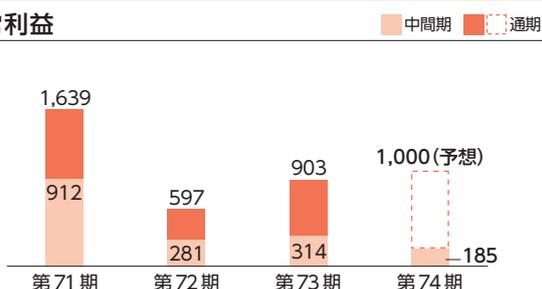
売上高



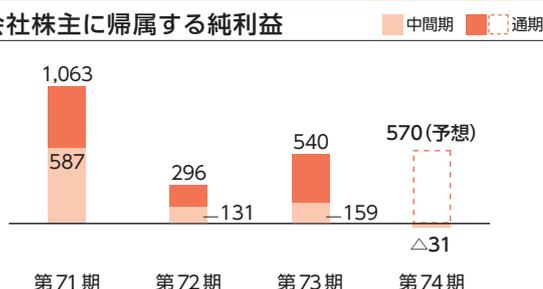
営業利益



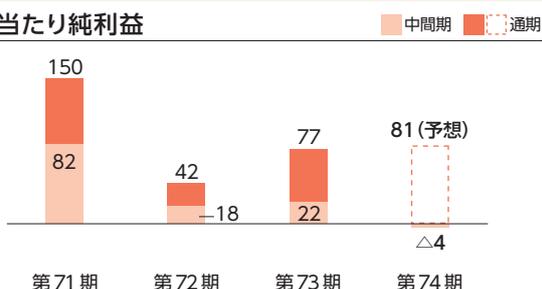
経常利益



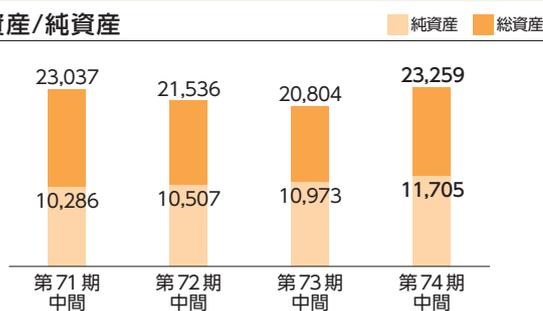
親会社株主に帰属する純利益



1株当たり純利益



総資産/純資産



●株主優待寄付金

ご賛同くださった株主のみなさまにつきまして、今年10月に寄付をいたしました。また日本赤十字社から表彰状を受けました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

寄付金総額 **415,000円**

(日本赤十字社、国土緑化推進機構に各207,500円)



株主優待制度の廃止と配当予定について

既にご案内をしておりますが、2022年3月末をもちまして株主優待制度は廃止いたしました。今までのご愛顧ありがとうございました。

今後は配当金による、より公平で直接的な利益還元を行ってまいります。

1株当たり配当金



カワタテクニカルセンター着工

当社の主力工場である三田工場の隣接地を取得し、カワタテクニカルセンターの着工をいたしました。ここではカワタ製品のテストセンターのほか製品展示やセミナーなどに用いる予定です。

完成予想図(2023年3月竣工予定)



■ 会社の概要

商号	株式会社カワタ (KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本社	〒550-0011 大阪市西区阿波座1-15-15
設立	1951年7月13日
資本金	977,142,640円
従業員数	233名(連結817名) (役員 出向社員 パート 嘱託 契約社員は除く)

■ 事業所

● 国内

本社	名古屋営業所 大阪第二オフィス 大阪市西区
大阪営業所	大阪サービス 大阪市西成区
仙台営業所	仙台サービス 仙台市太白区
北関東サービス	群馬県高崎市
埼玉営業所	東京サービス 埼玉県川口市
東京営業所	東京都中央区
南関東営業所	南関東サービス 神奈川県厚木市
静岡営業所	静岡サービス 静岡市駿河区
	名古屋営業所 名古屋サービス 名古屋市東区
	広島営業所 広島サービス 広島市南区
	九州営業所 九州サービス 福岡市博多区
	三田工場 兵庫県三田市
	東京工場 埼玉県川口市
	大阪工場 大阪市西成区
	(株)サーモテック 大阪市西成区
	エム・エル エンジニアリング(株) 静岡県藤枝市
	(株)レイケン 東京都中央区

● 海外

アメリカ	カワタU.S.A. INC.
メキシコ	カワタマシナリーメキシコS.A.DE C.V.
シンガポール	カワタパシフィックPTE. LTD.
タイ	カワタタイランドCO., LTD.
マレーシア	カワタマーケティングSDN. BHD.
インドネシア	PT. カワタインドネシア PT. カワタマーケティングインドネシア
ベトナム	カワタマシナリーベトナムCO., LTD.
中国	川田機械製造(上海)有限公司 川田機械香港有限公司
台湾	川田国際股份有限公司

■ 役員

代表取締役社長	白石 互
取締役	白井 英徳
取締役	藤坂 祐宏
取締役	木水 均
取締役常勤監査等委員	渡部 寛
取締役監査等委員	伊藤 芳伸
取締役監査等委員	飯塚 一雄

■ 株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,210,000株
単元株式数	100株
株主数	7,745名 (前期末比 831名減)

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	608,200株
カワタ共伸会	476,400
カワタ従業員持株会	252,680
(株)三菱UFJ銀行	227,300
(株)日本カストディ銀行(信託口)	197,400
日本生命保険相互会社	110,700
明治安田生命保険相互会社	110,000
大阪中小企業投資育成(株)	110,000
日本システムコントロール(株)	109,200
日本マスタートラスト信託銀行(株) (役員報酬BIP信託口・76541口)	103,253

(注) 上記のほか、自己株式が128,249株あります。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3-6-3 ☎0120-094-777(通話料無料)

公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
当社ホームページ
(<https://www.kawata.cc/>) に掲載

上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

WEBサイトのご案内

詳しいIR情報は、当社ホームページにて掲載しています。

<https://www.kawata.cc/>

株式会社カワタ

検索



トップページ



会社情報